

2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
 - 2) 決算のポイント
 - 3) 商品群別売上高
 - 4) 国内売上高
 - 5) 海外売上高
 - 6) トピックス
 - 7) 減価償却費と研究開発費
 - 8) 通期業績見通し
- [参考] 商品群別売上高見通し/
為替の影響

日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2019年2月4日

Fighting Disease with Electronics

 NIHON KOHDEN

1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2018/3 第3四半期 累計	2019/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
売上高	117,456	120,227	2.4
国内売上高	86,766	87,568	0.9
海外売上高	30,689	32,659	6.4
売上総利益 (売上総利益率)	56,530 48.1%	58,627 48.8%	3.7
営業利益 (営業利益率)	6,041 5.1%	6,365 5.3%	5.4
経常利益	6,981	7,143	2.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,262	4,986	17.0

← 為替影響除く: +7%

← 自社品
売上比率: 2018/3 Q3 63.2% → 2019/3 Q3 64.0%

← 販管費率: 43.0% → 43.5%

← 為替差益: 4.6億円 → 1.9億円

平均レート	(2017/12)	(2018/12)
1米ドル	111.6円	110.7円
1ユーロ	128.8円	129.4円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 2.4%増

- ・国内：市場別の取り組みを強化し、消耗品・保守サービス事業の拡大に注力した結果、売上が伸長。
- ・海外：米州、アジア州が成長をけん引。

営業利益：前年同期比 5.4%増

- ・増収効果、粗利率の改善で販管費の増加を吸収し、増益。
- ・粗利率は、生産コストの低減と商品ミックスの良化により0.7%ポイント上昇。

純利益：前年同期比 17.0%増

- ・前年同期における米国税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しの影響もあり、二桁増益。

3) 商品群別売上高

(単位:百万円)

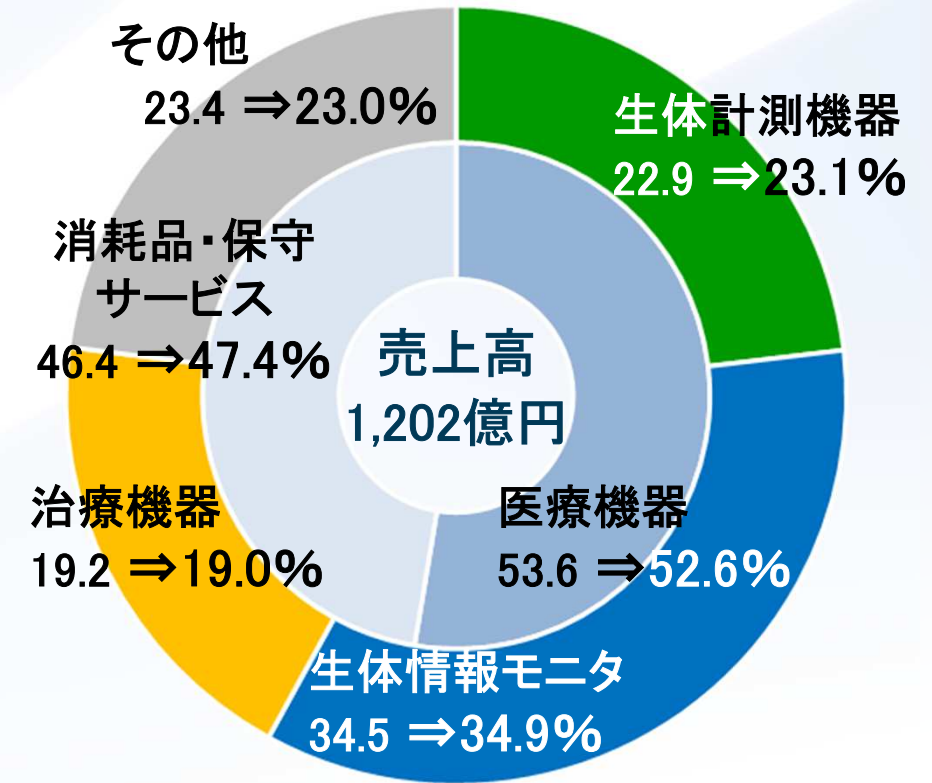
	2018/3 第3四半期 累計	2019/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	26,859	27,776	3.4
生体情報モニタ	40,559	41,933	3.4
治療機器	22,497	22,894	1.8
その他	27,539	27,624	0.3
売上高合計	117,456	120,227	2.4

(ご参考)

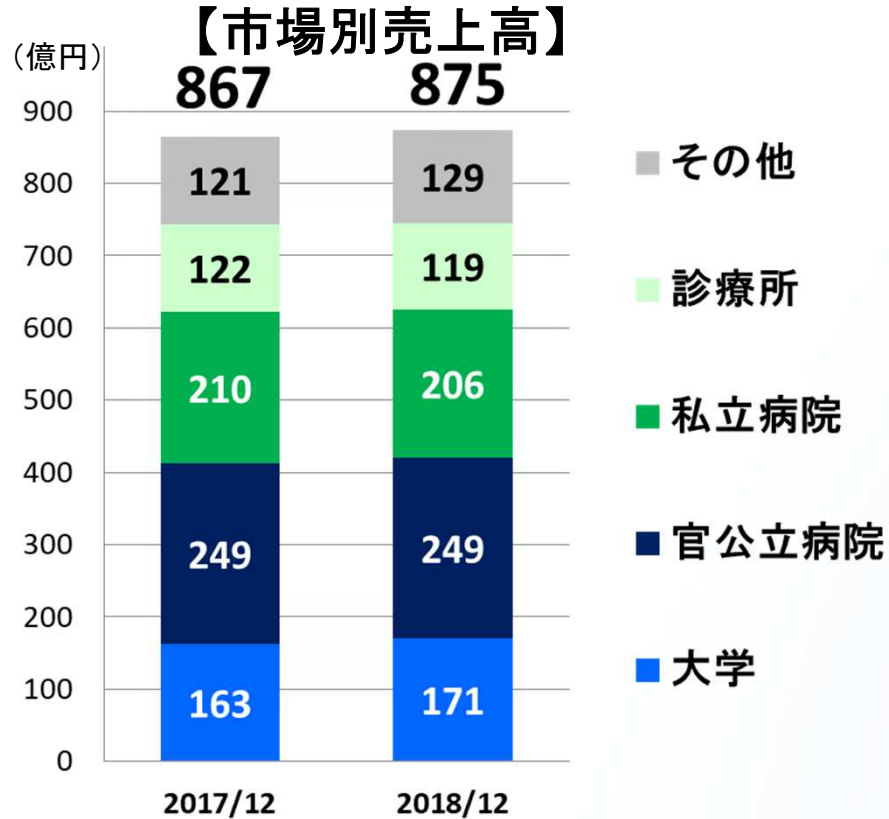
消耗品・保守サービス	54,485	56,956	4.5
------------	--------	--------	-----

商品群別売上構成比

(2017/12 ⇒ 2018/12)



4) 国内売上高



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2018/3 第3四半期 累計	2019/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	21,442	21,789	1.6
生体情報モニタ	25,680	25,567	△ 0.4
治療機器	15,683	15,916	1.5
その他	23,961	24,294	1.4
売上高合計	86,766	87,568	0.9

【市場別】 その他に含まれるPAD市場※が好調に推移し、大学病院市場も堅調に推移。私立病院、診療所市場は前年同期を下回る。

【商品群別】 生体計測機器： 診断情報システム、心臓カテーテル検査装置群が好調に推移。脳神経系群、心電計群は前年同期を下回る。

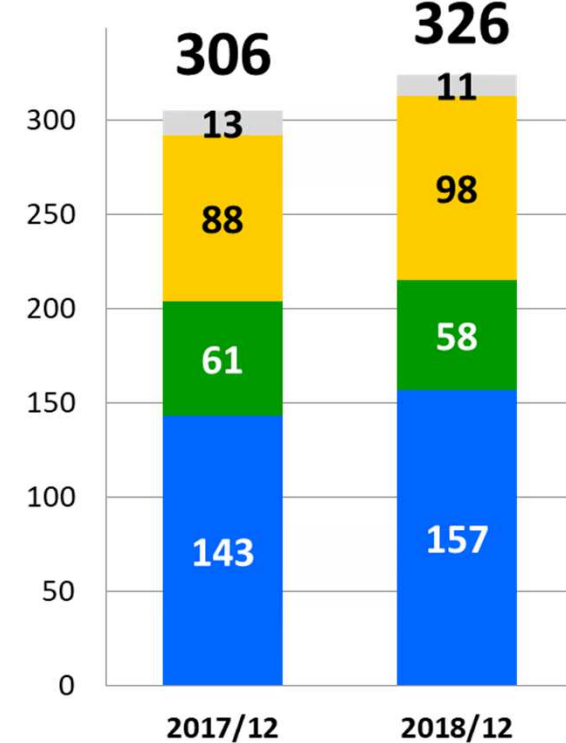
生体情報モニタ： ベッドサイドモニタが新製品の生産・出荷の遅れにより減収。消耗品、臨床情報システムは堅調に推移。

治療機器： AED、人工呼吸器が好調に推移。ペースメーカー・ICDは前年同期を下回る。

その他： 全自動血球計数・免疫反応測定装置の新製品効果が寄与。医療機器の設置工事、保守サービスも好調。

5) 海外売上高

【地域別売上高】



- その他：前年同期比 $\Delta 15\%$
(為替影響除く： $\Delta 15\%$)
- アジア州：前年同期比 $+11\%$
(為替影響除く： $+11\%$)
- 欧州：前年同期比 $\Delta 4\%$
(為替影響除く： $\Delta 4\%$)
- 米州：前年同期比 $+10\%$
(為替影響除く： $+11\%$)

【海外売上高比率】

2018/3 第3四半期累計	2019/3 第3四半期累計
26.1%	27.2%

【商品群別売上高】

(単位：百万円)

	2018/3 第3四半期 累計	2019/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	5,417	5,986	10.5
生体情報モニタ	14,879	16,365	10.0
治療機器	6,814	6,978	2.4
その他	3,578	3,329	$\Delta 7.0$
売上高合計	30,689	32,659	6.4

為替影響除く： $+7\%$

- 【地域別】 米州：米国では、生体情報モニタ、脳神経系群が好調に推移。中南米は、ブラジル、メキシコを中心に大幅に伸長。
 欧州：ドイツ、イタリアは好調に推移した一方、ロシア、トルコが低調。
 アジア州：中国、タイが好調に推移したほか、カタールでの大口商談の受注も寄与。
- 【商品群別】 生体計測機器：脳神経系群は米州、心電計群はアジア州で好調に推移。
 生体情報モニタ：米州、アジア州で二桁成長。
 治療機器：除細動器は米州、アジア州で好調に推移。AEDはアジア州で好調に推移した一方、米州で前年同期を下回る。
 その他：現地仕入品が前年同期を下回る。血球計数器は中南米、アジア州で好調に推移。

6) トピックス

第3四半期の主な新製品

治療機器

日本初

一般家庭向け 自動体外式除細動器 AED-3101

- 日本初の一般家庭向けAED
- 家庭へのAED普及、救命率向上を目指す※1
- 無線LAN通信機能で取り出した救助データを、医療機関等へ迅速に提供可能
- バイリンガルの音声ガイド(日英)
- 「セコム・MyAED」サービス専用

国内：2018年12月発売



※1
日本では年間約7万人が心臓突然死で亡くなっており、そのうち70%以上が自宅で発生
(出所:総務省消防庁 平成30年版救急・救助の現況、Resuscitation 2006; 69 221-228)

検体検査装置

日本初

全自動血球計数・免疫反応測定装置 MEK-1303用 + HbA1cライセンス

- CBC、CRP、HbA1c検査に1台で対応できる
日本初のPOCT製品※2
- 開業医における感染症・生活習慣病の検査に対応
- 採血管のキャップを取らずに測定でき、血液感染リスクを低減

国内：2018年12月発売

※2
CBC (Complete Blood Count: 全血球計算値)
CRP (C-Reactive Protein: C反応性蛋白)
HbA1c (ヘモグロビンA1c)
POCT (Point of Care Testing: 診療の現場で行う検査)



7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2018/3 第3四半期 累計	2019/3 第3四半期 累計	増減額	2018/3 前期実績	2019/3 予想	
					期初	11月2日 修正
減価償却費	2,417	2,550	132	3,338	3,900	3,800
研究開発費	5,598	5,459	△139	7,226	8,500	8,000
設備投資額				3,430	4,000	3,900

【2019/3期 設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、基幹システムのサーバ更新

【2018年・2019年新製品(予定)】

生体情報モニタリング事業

中位機種
ベッドサイドモニタ



CSM-1500/1700

新興国向け
ベッドサイド
モニタ

スポット
チェック
モニタ

治療機器事業

麻酔器(国内) 手術室

人工呼吸器 ICU

一般家庭向け

AED-3101 (国内)

臨床検査機器事業

全自動血球
計数・免疫
反応測定装置



MEK-1303
+HbA1c (国内)

脳波計



EEG-
1260/1290 (国内)

【期初計画と11/2修正計画との差異】

- ・研究開発費 △5億円
- ・維持・改良費※ +5億円

※市場投入後新製品の機能追加・改良に係る開発費用

※ CSM-1500/1700: 国内、欧州、新興国は発売済
米国は連邦政府機関の一部閉鎖
により、承認プロセスに遅れ
MEK-1303、AED-3101、EEG-1260/1290は国内発売済
他は2019年発売予定

8) 通期業績見通し

	2018/3 前期実績	2019/3 当期予想	増減率 (%)
売上高	174,249	180,000	3.3
国内売上高	128,144	130,700	2.0
海外売上高	46,105	49,300	6.9
売上総利益 (売上総利益率)	82,759 47.5%	86,800 48.2%	4.9
営業利益 (営業利益率)	14,517 8.3%	15,000 8.3%	3.3
経常利益	14,501	15,000	3.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,154	10,300	12.5

(単位:百万円)

← 為替影響除く: +9%

【地域別海外売上高】

	2018/3 前期実績	2019/3		増減率 (%)
		期初	11月2日修正	
米州	22,000	23,400	23,600	7.3
欧州	8,462	9,100	8,600	1.6
アジア州	13,634	14,100	14,600	7.1
その他	2,008	2,700	2,500	24.4
海外計	46,105	49,300	49,300	6.9

※第4四半期の前提為替レートは105円/米ドル、130円/ユーロです。

海外売上高比率 26.5% → 27.4%

平均レート (期初の想定)

1米ドル	111.0円	105円
1ユーロ	130.0円	130円

[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2018/3 前期実績	2019/3 予想			増減率 (%)
		期初	11月2日修正	構成比(%)	
生体計測機器	39,323	40,200	40,500	22.5	3.0
生体情報モニタ	59,229	62,500	62,800	34.9	6.0
治療機器	32,892	33,600	33,400	18.6	1.5
その他	42,804	43,700	43,300	24.0	1.2
売上高合計	174,249	180,000	180,000	100.0	3.3

(ご参考)

消耗品・保守サービス	75,505	78,100	78,200	43.4	3.6
------------	--------	--------	--------	------	-----

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.0億円	1.1億円
ユーロ	0.5億円	0.2億円

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営戦略部

【連絡先】 TEL03-5996-8003